

週間漁海況情報 2025年第50号

令和7年12月16日発行

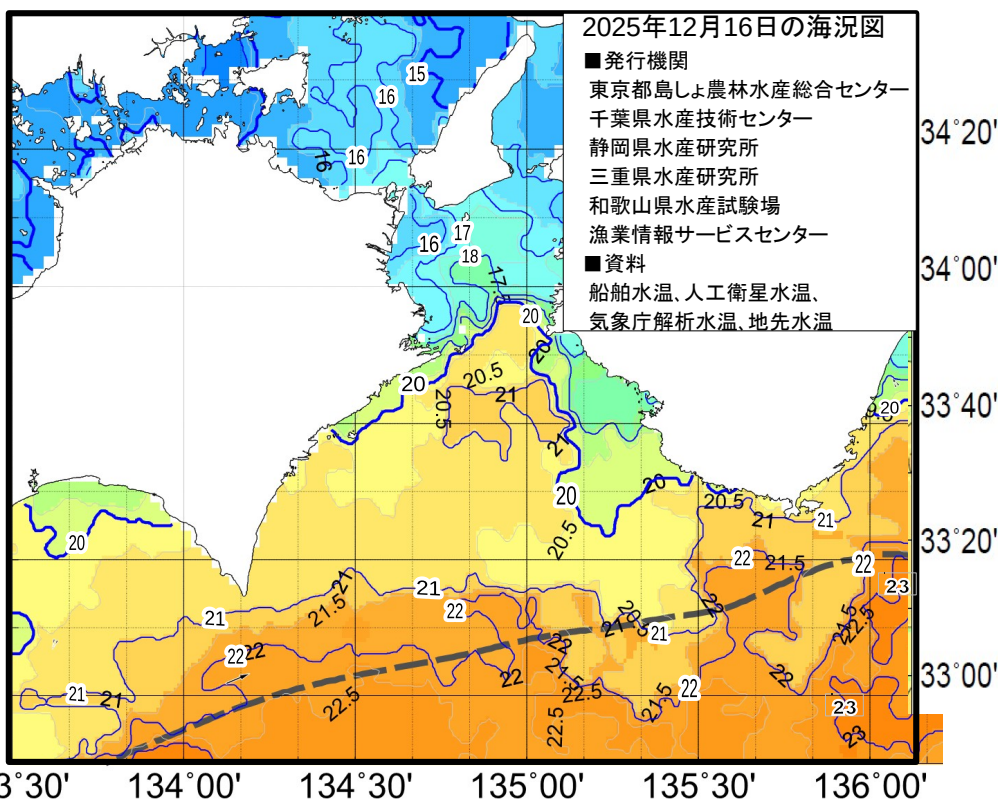
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は21～23℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で15～16、紀伊水道で15～19、海部沿岸で19～20℃台となっている。

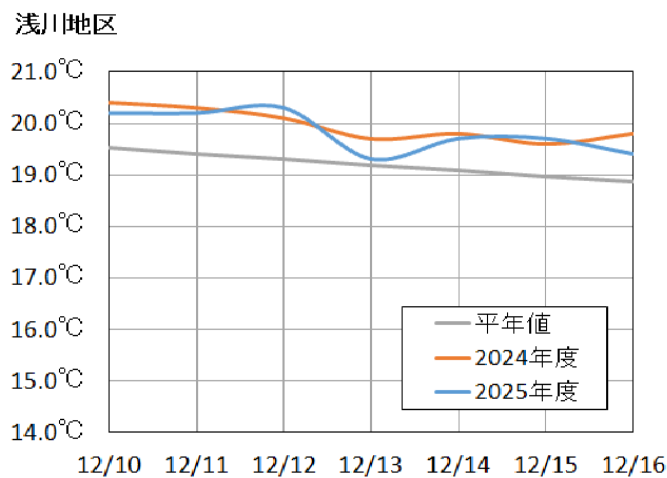
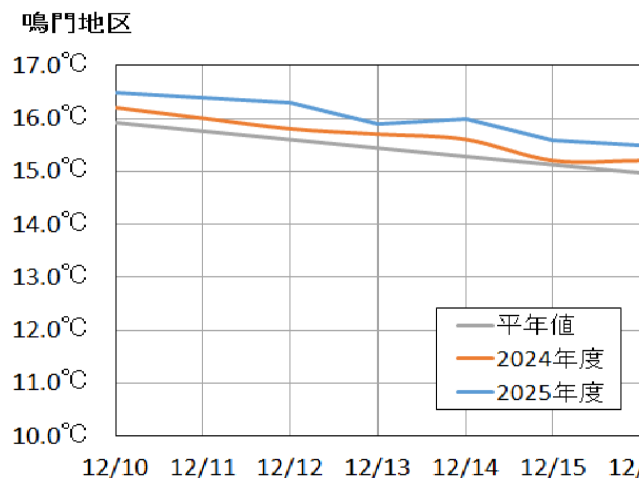


※黒潮の離接岸の表現
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(12月10日～12月16日)

鳴門地区の水温は、16.5～15.5℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。浅川地区は、20.3～19.3℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、3.4～4.1℃だった。



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(12月17日～12月23日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (12月8日～12月14日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく増えて28.6トン水揚げされた。
 延縄では、サワラが増えて1.2トン、あまだい類が減って0.8トン水揚げされた。
 底びき網では、モンゴウイカが増えて1.9トン、クマエビが1.4トン、
 ハモが増えて中主体に1.4トン、タチウオが大きく増えて0.7トン水揚げされた。
 建網では、カワハギが増えて大主体に0.5トン水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが大きく増えて1.1トン、マアジが減って豆あじ級主体に0.9トン、
 カワハギが増えて大主体に0.9トン、すずき類が大きく増えて大主体に0.3トン、
 カンパチが増えて0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：3)

釣りでは、ブリが1.2トン水揚げされた。
 大型定置網では、マルアジが大きく増えて小小主体に2.3トン、
 カンパチが大きく増えて1.8トン、メアジが増えて1.6トン、
 ヒラソウダが0.7トン、マアジが大きく増えて小小主体に0.5トン、
 シイラが大きく増えて小小主体に0.5トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	71	シラス	28,620	403		↗↗
	延縄	35	サワラ	1,151	33		↗
		53	あまだい類	849	16		↘
	底びき網	31	モンゴウイカ	1,878	61		↗
		30	クマエビ	1,408	47		→
		27	ハモ	1,365	51	中主体	↗
		26	タチウオ	723	28		↗↗
	建網	56	カワハギ	507	9	大主体	↗
	小型定置網	16	イサキ	1,056	66		↗↗
		19	マアジ	907	48	豆あじ級主体	↘
		20	カワハギ	906	45	大主体	↗
		10	すずき類	328	33	大主体	↗↗
		7	カンパチ	316	45		↗
海部沿岸	釣り	33	ブリ	1,156	35		→
	大型定置網	6	マルアジ	2,301	384	小小主体	↗↗
		6	カンパチ	1,778	296		↗↗
		6	メアジ	1,602	267		↗
		6	ヒラソウダ	687	115		→
		6	マアジ	527	88	小小主体	↗↗
		6	シイラ	515	86	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘